

平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

コンポンチャム州チューンプレイ病院総合病棟建設計画 完成式典開催

11月20日（木）、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「コンポンチャム州チューンプレイ病院総合病棟建設計画」（供与額限度額：116,950米ドル）により建設された総合病棟の完成式典が、コンポンチャム州チューンプレイ病院で開催されました。右式典には、モム・ブンヘン保健大臣、ロン・リム・タイ州知事、キム・スオピロン州保健局長、ジャパンハート・カンボジア事業ダイレクターの長谷川彩未様及び日本国大使館から樋口公使が出席して祝辞を述べるとともに、その他地域住民や学生約500人が参列しました。

本案件は、コンポンチャム州チューンプレイ病院に総合病棟を建設することで、院内感染率の低下や集中治療室の設置を主とした医療サービスの質の向上を図ることを目的として、2013年11月に贈与契約が結ばれ、この度完成式典を実施する運びとなりました。

式典では、まず司会者が来賓を紹介した後、キム・スオピロン州保健局長によるスピーチの後、事業ダイレクターの長谷川彩未様がスピーチを行い「ジャパンハートがチューンプレイ病院で活動を初めて5年目となった。今後も引き続き、患者から信頼される病院になるよう支援していきたい。」と述べました。その後、ロン・リム・タイ州知事がスピーチを行った後、樋口公使がスピーチを行い「日本政府は保健分野に重点を置いており、カンボジア政府の国家政策に沿って住民が必要な医療サービスを受けられるよう州病院を支援してきた。本案件で供与した総合病棟により、多くの地域住民が医療サービスを受けられるようになることを望み、また本案件がカンボジアと日本のさらなる友好関係促進に寄与することを願う。」と述べました。その後、モム・ブンヘン保健大臣がスピーチを行い「長年にわたり行われてきた日本の多大な支援に感謝している。今回日本に支援いただいたチューンプレイ病院総合病棟については、関係者によって適切な管理がなされ、多くの人々に利用されることを願う。」と述べました。その後、来賓によるリボンカット、及び病院見学が行われ、式典は無事終了しました。



①式典の様子



②式典に参加する地域住民や学生約500名



③樋口公使によるスピーチ



④モム・ブンヘーン保健大臣によるスピーチ



⑤記念品贈呈



⑥樋口公使によるリボンカッティング



⑦病院内見学



⑧病院関係者との集合写真